

下野市公共施設マネジメント基本方針（案）の修正内容

資料 3

第2回検討委員会での協議により、下記のとおり修正しました。

箇所		前	後	説明
全体		—	脚注を追加。	分かりにくい用語について、解説を追加しました。
2頁	第1章 II 計画の位置付け 図1-2	公共施設マネジメント基本方針 (公共施設等総合管理計画)	公共施設マネジメント基本方針等 (公共施設等総合管理計画) ○公共施設マネジメント基本方針 (全体基本方針) ○公共施設マネジメント用途別方針 (個別基本方針)	基本方針を基本方針等とし、内容を追加しました。
14頁 ～ 15頁	第2章 IV	—	1. 更新及び大規模改修に係る中長期的な 経費の見込み (本文省略) 2. 維持管理運営費に係る中長期的な経費 の考え方 (本文省略)	維持管理運営費に関する文章を、別途新たな項目として整理しました。
16頁 ～ 22頁	第2章 V	—	(省略)	アンケート結果を追加しました。
24頁	第2章 VI 【地域別課題への 対応の必要性】	各地区において、施設の設置状況は若干の 差に留まっていますが、以下に示す地域別 の特徴を踏まえ、対策の検討が必要です。	各地区において、以下の相違点はありますが、施設の設置状況は若干の差に留まっています。また、現在の人口構成及び今後の人口の見通しも同様の傾向にあり、地域別の特徴的な課題は少ないといえます。したがって、基本方針等の策定においては、地区別に限定せずに市域全体を対象とします。	地区別に大きな課題がないことから、市域全体を対象として基本方針等を作成することを記載しました。
25頁	第3章 I	【数値目標】 今後30年間で、公共施設等の更新及び大規模改修に係る経費を○%削減する。	【数値目標】 今後30年間で、公共施設等の更新及び大規模改修に係る経費を20%削減する。	削減目標値及び目標設定の根拠を記載しました。
		—	経費の削減に関する目標設定は、将来見通しの金額～ (以降省略)	

箇所		前	後	説明
30頁	第3章 IV 5～7行目	—	具体的な対策の優先順位の考え方や、対策内容と実施時期、対策費用等については、点検・診断等と一体的な取組として各施設の所管課が個別施設計画として策定、または既存計画を適宜見直します。	具体的な対策については、個別施設計画で策定することを記載しました。
	図3-5	(省略)	(省略)	年度支出額の平準化のイメージが分かりやすいよう修正しました。
31頁	第3章 IV 1～4行目	—	これら維持管理・修繕、後述する更新等を実施した際には、維持管理に資する基礎資料として分析等がしやすいよう、施設種別等に応じて統一的な記録形式（様式等）の電子データにより、実施年度や工事内容、工事金額等を工事履歴として台帳等と一体的に記録・蓄積することを徹底し、個別施設計画に反映していきます。	維持管理・修繕、更新等の実施した記録について、個別施設計画への反映をしていく方法を記載しました。
37頁	第3章 IV 6～7行目 図3-13	これらを解決するため、今後、ハコモノの更新や長寿命化を行う際は、類似する機能の共有や施設規模の効率化を図るための集約と再配置を前提に検討します。	これらを解決するため、施設のもつ性能や利用度等を定量的に評価する施設アセスメント等、各施設の今後の利活用のあり方（維持、転用、更新等）を検討します。 図（省略）	各施設の利活用のあり方（維持、転用、更新等）を検討することに修正しました。